

令和元年度・研友社事業概要

1. 概要

令和元年度は、より円滑な業務の遂行と品質の向上に努め、事業を積極的かつ組織的に実施した。また、「鉄道研究文化の推進」を研友社の活動の目指すべき方向と位置づけ、英語名を「Ken-yusha, Inc.」から「Railway Research-Culture Promotion Foundation（略称：RRPF）」に改めるとともに、機関誌「研友（英語名：RRPF Journal）」を創刊した。

2. 事業内容

(1) 鉄道技術に関する研究開発成果の普及

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下「鉄道総研」という）の研究開発成果の普及を推進するため、以下の事業を実施した。

- 1) 鉄道総研報告、RRR（鉄道総研レビュー）、Quarterly Report of RTRI、鉄道総研年報（和文）、Ascent、海外鉄道技術情報（WRT）の編集・作成
- 2) 構造物に関する設計標準等の鉄道技術図書の販売
- 3) 講演会、講習会、技術講座、研究委員会等の開催業務

(2) 鉄道技術の研究開発の支援

鉄道総研及び鉄道技術に関する研究活動の支援と情報の収集、普及のために以下の事業を実施した。

- 1) 図書室の管理運営業務
- 2) データベース管理、技術文献の収集検索、鉄道技術文献のデータベース入力・管理等の研究開発支援業務

(3) 国内外の鉄道及び鉄道技術の調査

世界の主要な鉄道関係メディアから、最新の鉄道及び鉄道技術情報を調査・収集し、研友社のホームページに掲載するとともに、希望者に電子メールにより無償提供した。

(4) 鉄道技術等に関する調査研究の助成

鉄道分野の優れた人材の育成を目的として、鉄道及び鉄道技術の基礎・先端分野の調査研究に対して研究資金を助成する事業として調査研究9件を実施した。

(5) その他事業

- 1) 鉄道技術文献の翻訳等及び外国語の校閲・指導、英文ネイティブチェック業務
- 2) 海外鉄道事故及び輸送に関する技術情報等の調査分析

3. 令和元年度の決算

（百万円）

科 目	金 額	科 目	金 額
収入の部		支出の部	
研究開発成果の普及事業収入	181	人件費	103
研究開発の支援事業収入	53	物件費等	150
その他の事業収入	32	海外鉄道調査事業費	6
		調査研究助成事業費	4
前期繰越収支差額	134	次期繰越収支差額	137
収入合計	400	支出合計	400